

2021年7月15日

会員・関係各位

地理教育研究会
理事長 谷川尚哉
大会委員会

第59回うつくしま・ふくしま大会の開催について（お知らせ）

理事会ならびに大会委員会では、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、2021年度研究大会である第59回うつくしま・ふくしま大会の開催方法に関して、議論を重ねてまいりましたが、福島での現地開催とオンライン開催の併用（ハイブリッド形式）で行うことと決定いたしました。現地にお越し頂けない皆様にも、ぜひともオンライン（リモート）参加をお願い申し上げます。

福島の地で、東日本大震災10年を振り返り、復興に向けて頑張りがつつある地域の姿に学びつつ、地域のあるべき姿を考えていければと思います。

また来年度から、高校地歴科では、待ちに待った地理の必修修が始まります。「地理総合」の授業のスタートです。また、ESDやSDGs、GIGAスクールなど、やたら横文字の言葉が飛び交っておりますが、これらの事は、私たちが掲げる社会科・地理教育とどのように整合されうるのかを、この「うつくしま・ふくしま大会」で、おおいに議論したいと思います。

なお大会参加に関しては、別紙「大会開催に関するお願いと注意事項」をお読みください。

2年ぶりの研究大会です。多くの皆様方のご参加を、心よりお願い申し上げます。

◆大会参加に関するお願いと注意事項◆

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、2年ぶりの大会開催となります。第59回うつくしま・ふくしま大会は、現地での開催とZoomを用いたオンラインでの開催（ハイブリッド方式）と併用して行うことになりました。分散会・分科会に関しても、従来方式と異なり、発表者のテーマに合わせてプログラムを編成しています。従来とは異なることも多い大会となりますが、ご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

以下、現地での参加を予定されている方へのお願いと注意事項になります。必ずご確認ください。なおオンラインにて参加をお考えの方は、「オンライン参加時の注意事項」をご確認ください。

＜現地にて参加される方へのお願いと注意事項＞

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の流行拡大や福島県への緊急事態宣言の発出により、会場が借りられなくなった場合は、急遽オンライン開催のみに変更となることがあります。その際は、地理教育研究会のホームページにてお知らせしますので、必ず確認をお願いいたします。
- ◆ 参加形態に関しては、各自のご判断をお願いいたします。特に緊急事態宣言が発出されている地域からの移動に関しては、十分な検討をお願いいたします。
- ◆ 交通・宿泊の手配は各自の責任においてお願いいたします。
- ◆ いわゆる『密』を避けた形での大会開催となります。会場に関しては、発表者以外は一方方向を向く形（スクール形式）で行い、会場への入室は、定員の半分となります。受付にアルコール消毒液を設置しておりますので、入室前に必ず手指消毒を行ってください。また検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ◆ ワクチン接種の有無に関係なく、現地での参加に関しては、以下の点にご留意ください。
 - ① 必ずマスクを着用してください。（マスクを外しての会話は控えてください。）
 - ② 大きい声での会話はお控えください。
 - ③ 受付での検温、消毒を実施する場合がありますので、ご協力をお願いいたします。
 - ④ 発熱・せき・のどの痛み等の症状がある場合は、参加を控えてください。
 - ⑤ 昼食時のお弁当の販売はありません。同じ建物内のレストランもしくは、周辺の飲食店をご利用ください。
 - ⑥ お弁当を持参する場合、指定の会場をご利用ください。廊下等の共用部分での飲食は絶対にお控えください。なお飲食の際は、黙食にてお願いいたします。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策に関しては、自治体や学校においても対応に差があるかと思えます。ぜひ周囲の方々へのご配慮をお願いいたします。

◆オンライン参加時の注意事項◆

オンラインでの参加ご希望の方は、参加費を振り込みの上、**8月10日（火）までに**、下記のアドレスまで氏名とメールアドレスをお知らせください。
《大会メールアドレス》chikyouken@gmail.com

- ◆ 振込の確認後、8月13日（金）までに、メールにて参加に必要な情報を返信いたします。なお8月13日（金）の午後5時（17時）になっても参加情報を記したメールが届かない場合は、お手数ですが、再度メールを頂戴できれば幸いです。
- ◆ 参加情報に関しては、以下の4つに分けてお知らせします。
 - ① 1日目「総会」（会員の方は無料）
※総会参加に必要な情報は、会員の皆様に郵送される「大会要項」に記してあります。
※②以降はオンライン参加の申し込みがあった方に、情報をお知らせします。
 - ② 1日目「記念講演・ミニシンポジウム」
 - ③ 2日目「第1会場」AM：地理総合・地理探究 PM：防災教育・災害
 - ④ 2日目「第2会場」AM：地理教育論 PM：地域研究
- ◆ オンライン参加に際して、接続等のサポートは一切行いません。各自にて、事前に確認をお願いいたします。
- ◆ 回線の状況により、映像や音声に乱れが生じることがありますが、あらかじめご了承ください。
- ◆ 参加の際は、氏名は以下のように入力してください。この情報をもとに参加の承認を行います。正しく入力されていない場合は、参加できないことがあります。
《記載方法》氏名（都道府県・所属先）
※所属先がない場合は都道府県名のみで結構です
《氏名記入例》地理太郎（東京・三番町小学校）
- ◆ 質問等ご発言される際は、司会者（座長）の方で指名をさせていただきます。「挙手機能」や「チャット」等で発言を求めてください。なおその際は可能な限り「顔出し」をお願いいたします。
- ◆ 参加の際は、音声は必ず「ミュート」をお願いいたします。
- ◆ 大会の内容に関する録画や録音は控えてください。なお会としては記録用に録画・録音をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。（大会の様子を後日、配信することには行わない予定です。）

第59回 うつくしま・ふくしま大会 発表者一覧

大会2日目 8月15日(日) 9:30~16:30

◆第1会場◆

◆9:30~12:30【地理総合・地理探究】

<座長：吉村・武田>

①柴田 健（神奈川・神奈川地教研）：新課程「地理総合」を検証する

②吉村憲二（神奈川・横浜緑ヶ丘高校）：教科書をもとに「地理総合」を組み立てる

③吉住知文（埼玉・駿河台大学客員研究員）：

Web地図、地図データ、地図ソフトの活用 —GISの展開に向けて—

◆13:30~16:30【防災教育・災害】

<座長：大野・吉本>

①田島康弘（鹿児島・鹿児島大学・非）：地理と防災 —居住地域での活動—

②吉本健一（愛知・至学館大学）：

東日本大震災・福島第1原発事故から10年後の被災地

③飯塚和幸（神奈川・明治大学附属中野中学・高校）：

タブレット端末を活用した防災・震災学習の試み

◆第2会場◆

◆9:30~12:30【地理教育論】

<座長：谷川・高田>

①石戸谷浩美（東京・東京学芸大学附属竹早中学校）：

主権者意識を育てる中学校社会科地理学習をめざして

②近 正美（千葉・元千葉県立高校）：地理教育のアウトリーチ

③相原正義（千葉・千葉地教研）：

身近な地域学習・手賀沼から「地域と事実」を考える

—再び地理教育論を深めるために—

◆13:30~16:30【地域研究】

<座長：三堀・柴田>

①門馬 寛（福島・田村市立船引南中学校）：人口増減と東北

②菅澤雄大（東京・明治大学附属明治高校・中学校）・佐島 健（佼成学園中学校・高校）：

漁村の震災からの復興について考える

—岩手県宮古市重茂地区・田老地区の復興を観る—

③柴田 健（神奈川・ハンセン病市民学会教育部会）：「地域からの断絶」—ハンセン病に学ぶ—